

第1回山武市公立幼稚園・私立保育園のあり方検討委員会【資料1】

令和7年1月20日

保健福祉部子育て支援課

山武市公立幼稚園・私立保育園のあり方検討委員会設置要綱を次のように定める。

令和6年10月23日

山武市長 松下 浩明

山武市告示第141号

山武市公立幼稚園・私立保育園のあり方検討委員会設置要綱

(設置及び目的)

第1条 市は、子どもたちが健やかに生まれ育つことができるよう、公立幼稚園及び私立保育園の環境づくりを一層推進し、必要な措置について検討するため、公立幼稚園・私立保育園のあり方検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討委員会は次に掲げる事項を検討する。

- (1) 公立幼稚園及び私立保育園のあり方についての調査研究及び検討
- (2) こども園の適正規模並びに適正配置及び設置運営についての調査研究及び検討
- (3) 前2号の検討結果の本市への提言

(組織)

第3条 検討委員会は、15人以内の委員をもって組織する。

2 検討委員会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 議会を代表する者
- (3) 教育委員会を代表する者
- (4) 小学校長を代表する者
- (5) 公立幼稚園・こども園職員を代表する者
- (6) 私立保育園職員を代表する者
- (7) 公立幼稚園保護者を代表する者
- (8) 私立保育園保護者を代表する者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、前条第2項各号の委員が当該各号に掲げる職を失したときに委員の職を失うものとする。

第1回山武市公立幼稚園・私立保育園のあり方検討委員会【資料1】

令和7年1月20日

保健福祉部子育て支援課

- 3 委員が欠けた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 検討委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
3 委員長は、検討委員会を代表し、会務を総括する。
4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。
3 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否に対し同数のときは、議長の決するところによる。
4 委員長は、必要に応じて委員以外の者を会議への出席を求め、その意見を聞くことができる。

(専門部会)

第7条 検討委員会には、必要に応じて専門部会（以下「部会」という。）を置くことができる。

- 2 部会は、委員長が指名する委員をもって組織する。

(守秘義務)

第8条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第9条 検討委員会の庶務は、保健福祉部子育て支援課において処理する。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営等に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この告示は、公示の日から施行する。

第1回山武市公立幼稚園・私立保育園のあり方検討委員会【資料2】

令和7年1月20日

保健福祉部子育て支援課

山武市の就学前児童数等の現状について

① 0歳～5歳人口 【毎年4月1日】

令和2年/1,539名	令和3年1,423名	令和4年/1,333名
令和5年/1,308名	令和6年1,221名	

② 出生数の推移

平成18年度/340名	平成19年度/382名	平成20年度/350名
平成21年度/329名	平成22年度/322名	平成23年度/305名
平成24年度/265名	平成25年度/296名	平成26年度/270名
平成27年度/299名	平成28年度/236名	平成29年度/200名
平成30年度/244名	令和元年度/217名	令和2年度/179名
令和3年度/188名	令和4年度/171名	令和5年度/153名
令和6年度/159名	(見込み)	

③ 園別園児数 【令和7年1月1日現在】

なるとうこども園/189名	なんごうこども園/56名
しらはたこども園/133名	まつおこども園 / 82名
おおひらこども園/77名	日向幼稚園 / 69名
日向保育園 / 90名	若杉保育園 /103名
蓮沼保育園 / 59名	
合計	858名

日向幼稚園の現状について

日 向 幼 稚 園

① 園児数 【令和7年1月1日現在】

合計/69名 3歳児/19名 4歳児/25名 5歳児/25名

② 園児数の推移 【毎年4月1日】

令和2年度/107名 令和3年度/99名 令和4年度/78名

令和5年度/83名 令和6年度/68名

③ 施設の状況

敷地 敷地面積：7,780.14㎡（一部借地）

建物 建築年月日：平成3年9月1日

構造：木造・一部鉄筋コンクリート造・2階

建築面積：1,251.51㎡

延床面積：1,308.55㎡

④ 園の現状について

【地域の特性】

- ・ 3学区から通園：平成31年4月より、日向、山武北、睦岡の3学区から園児が通園。通園バス利用者は約9割。
- ・ 地域の新たな動き：令和5年4月には旧日向小学校施設を利用して馬事学院が開校。園周辺では馬やポニーが放たれ、新しい地域コミュニティが形成されている。また、近隣にはモスクがあり、外国籍の方々の集まりも見られる。
- ・ 自然体験活動の推進：今年度は山武市の豊かな自然環境や地域資源を活用した保育を計画。自然体験を通じて子どもの五感や好奇心を刺激し、地域ならではの学びを提供している。

【園児の実態】

- ・ 園児の特徴：素直で明るく、親しみやすい性格。自立心があり、元気に挨拶できるが、生活面では受け身な傾向もある。
- ・ 多様性と支援：全園児の26%が外国にルーツを持ち、日本語の理解度に個人差あり。日本語習得や交流を深めるため、簡単なルールの集団遊びや日本語に親しむ活動を実施。
- ・ 家庭環境：要保護対象児童や家庭もあり、関係機関と連携して支援を進めている。

【保護者の期待や願い】

- ・ 保護者の属性：会社員が7割、自営業2割、公務員1割。
核家族世帯が約8割。
- ・ 異文化交流会：年長児保護者を対象に実施。外国籍の保護者からは「私たちをどう思っているのか」という質問を受ける場面もあり、互いの気持ちを伝え合いながら良好な関係性が築かれた。また、日本人保護者からは「園がインターナショナルスクールのような環境にあり良い」との声や、「言葉の面で外国籍の方を助けてい」といった意見が寄せられ、良い情報交換の場となった。
- ・ 外国籍家庭：全家庭の約3割を占める。父親が主に窓口となり、園のルールや習慣の共有を進めているが、浸透には時間がかかる。
- ・ 課題：保護者アンケートから、教育・保育への理解は深いものの、人や地域とのつながりが希薄で、子育てに不安を感じる声があることが判明。

⑤ 今後の見通しについて

今後、公立幼稚園では園児数が毎年減少していくことが予想される。一方で、外国籍の園児の割合は比較的安定しており、ここ数年は全体の約3割を維持している。

外国籍の保護者の方々にとって、登降園の際の交通手段として園バスは欠かせない存在となっている。しかし、園のルールや時間の順守が難しい場合が多く見受けられる。また、言葉の壁もありコミュニケーションの面で課題が生じている。

これらの課題に対して、どのように対応し、公立幼稚園のあり方を再構築していくかが、今後の重要な検討事項になると思われる。

⑥ その他

日向保育園の現状について

日 向 保 育 園

① 園児数 【令和7年1月1日現在】

合計 90 名	0 歳児/ 6 名	1 歳児/14 名	2 歳児/17 名
	3 歳児/14 名	4 歳児/19 名	5 歳児/20 名

② 園児数の推移 【毎年4月1日】

令和2年度/89名	令和3年度/84名	令和4年度/83名
令和5年度/88名	令和6年度/80名	

③ 施設の状況

敷 地 敷地面積：958 m²
建 物 建築年月日：平成2年3月12日
構 造：木造2階建
建築面積：698.40 m²
延床面積：693.52 m²

④ 園の現状について

ここ数年園児数は4月定員割れしているも年度途中から定員充足する傾向があり子どもが徐々に減っていると感じる。ただ3歳未満児の人数は定員増で、長時間保育が増え保護者ニーズとしては保育園の需要があると思われる。

建物が建築から35年経過し細かな修繕箇所は年々増えている。

外壁、屋根の塗装が喫緊に必要な。ボイラー、エアコンなど大型設備の入れ替えも必要になってくると思われる。

⑤ 今後の見通しについて

現在職員は充足しているが3歳未満児が増えてくると保育士定数に不足が出る場合もある。

園児数の減少数によっては定員減も視野に入れる必要がある。

定員に満たないが3歳未満児が多い、長時間保育を行うため職員数が多く必要というアンバランスも生じる。

子育て世代の職員が増えライフワークバランスの充実も課題となる。また給食調理、営繕、その他畑の管理清掃などに従事する職員の充足も課題となる。

園舎などの大規模修繕も視野に入れる。

⑥ その他

若杉保育園の現状について

若 杉 保 育 園

① 園児数 【令和7年1月1日現在】

合計 103 名	0 歳児/10 名	1 歳児/14 名	2 歳児/17 名
	3 歳児/20 名	4 歳児/22 名	5 歳児/20 名

② 園児数の推移 【毎年4月1日】

令和2年度/102名	令和3年度/97名	令和4年度/100名
令和5年度/101名	令和6年度/92名	

③ 施設の状況

敷 地 敷地面積：1656.03 m²

建 物 建築年月日：平成10年4月1日

構 造：木造亜鉛メッキ鋼板ぶき2階建

建築面積：595.810 m²

延床面積：744.86 m²

④ 園の現状について

今までに、定員割れは無く毎年度安定した人数が入園していたが、令和6年度に定員割れまではいかないが入園児数がガクッと減った、今後の人口数の動向を見ても、定員割れは必至である。

建物は、法定耐用年数は超えて26年経っており、老朽化は進んでいるが、修繕を掛けながら対応している。

子等の成長状況では、一人ひとりの子ども達の成長を支えなければならない部分が多く、保育士に掛る負担は増える一方で、人手を余分に充てなくては、保育できない状況に有る。

⑤ 今後の見通しについて

定員減や日向もしくは若杉のどちらかのこども園化。

両園とも老朽化している為、日向と若杉を一つにし、こども園化等

第1回山武市公立幼稚園・私立保育園のあり方検討委員会【資料3-3】

令和7年1月20日

保健福祉部子育て支援課

⑤ 今後の見通しについて

建物の新設については、市の協力が必要であり、関東福祉会だけでの新設は現在、予定はない。

⑥ その他